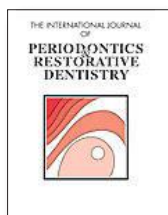


Laser-Lok ヒーリングアバットメントの再使用



Guidelines for clinical management of laser-etched (Laser-Lok) abutments in two different clinical scenarios: A preclinical laboratory soft tissue assessment study.

臨床シナリオ 2 例におけるレーザーエッチング (Laser-Lok) アバットメントの臨床管理ガイドライン：臨床前の軟組織評価実験

Neiva R, Tovar N, Jimbo R, Gil LF, Goldberg P, Barbosa JP, Lilin T, Coelho PG. *Int J Periodontics Restorative Dent*, Volume 36, Number 3, 2016. P. 339-345.

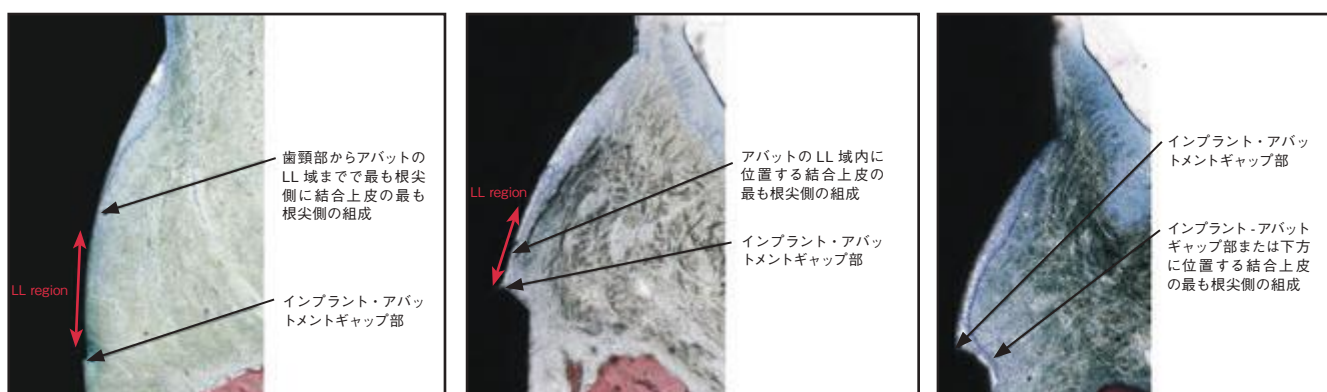


図1 インプラント・アバットメント周囲の軟組織に関して、舌側・頬側のフランジ部において最も根尖側にある接合上皮組成の位置を定量評価した。(a) 歯冠から LL 域まで最も根尖側にある接合上皮の組成、(b) LL 域内に位置する結合上皮の最も根尖側にある組成、(c) インプラント・アバットメントギャップ部、またはインプラント側に位置する接合上皮の最も根尖側の組成

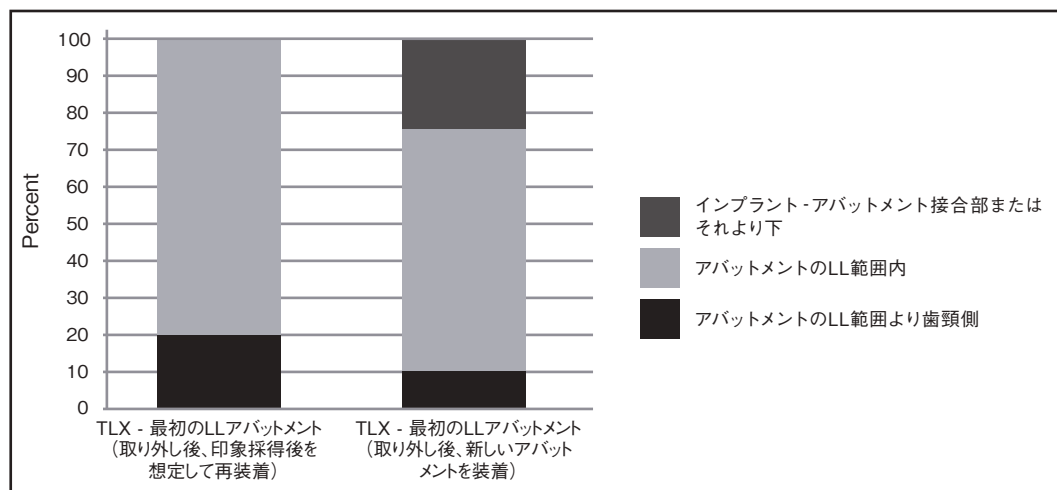


図2 印象採得想定試験群の略式ヒストグラム。頬側および舌側フランジ両方を考察した場合の、接合上皮位置の最根尖側の組成を示す。

要約

8 頭のビーグル犬の下顎に 1 回法でインプラントを埋入し、レーザーエッチングアバットメント (LL) および機械研磨アバットメントを装着した。4 週間後、LL アバットメントの半数を取り外し、10 分間生理食塩水に漬けた後に再装着した。残り半数については、上皮剥離 (有 / 無) にて新しい LL アバットメントに取り替えた (印象採得を想定した試験)。アバットメント交換後、3 週間の経過を待った。結果的に、LL アバットメントは再装着が可能であること、また、1 回法埋入インプラントに機械研磨アバットメントを装着した場合でも、LL 装着に先立って歯肉溝に傷をつけるメリットの可能性が示された。

結論

本研究に制限はあるものの、LL 処理をしたヒーリングアバットメントは、生理食塩水に浸すことによって、印象採得のような補綴操作において再装着することが可能であった。